

氏名	所属	職名	学位
水谷 未来	短期大学体育学科	助教	体育学博士
資 格			
高等学校教諭専修免許状（保健体育）			
年 度	主な著書・原著論文		
平成 25 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>水谷未来</u>, 中塚英弥, 青木竜, 塩川勝行, 前田明 : サッカーのキック動作における主観的努力度と実測値との対応関係, トレーニング科学, Vol.25 No.1 pp 25-32.</li> <li>• <u>水谷未来</u>, 前田明 : セパタクロ一のトス動作における利き脚キックと非利き脚キックの比較, 九州体育・スポーツ学研究, Vol.28 No.1 pp 19-26.</li> </ul>		
平成 26 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>水谷未来</u>, 前田明 : 大学サッカー選手のインステップキックにおける主観的努力度とボール速度の関係, 九州体育・スポーツ学研究, Vol.28 No.2 pp 13-18.</li> <li>• <u>水谷未来</u>, 亀田麻依, 山崎大嗣, 高井洋平, 前田明 : 大学サッカー選手におけるインステップキックの異なるボール速度が正確性に与える影響, トレーニング科学, Vol.25 No.3 pp 225-232.</li> </ul>		
平成 27 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 薮山雅洋, 岩本峰明, 杉山敬, <u>水谷未来</u>, 金久博昭, 前田明 : 大学野球投手における体幹の伸張 - 短縮サイクル運動および動作が投球動作に与える影響, 体育学研究, Vol.59 No.1 pp 189-202.</li> <li>• 濱田初幸, <u>水谷未来</u>, 前田明 : 初転君を用いた指導が柔道未熟練者の前回り受身に及ぼす即時的効果, スポーツパフォーマンス研究, Vol.7 No.1503 pp 247-254.</li> </ul>		
平成 29 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>水谷未来</u>, 鈴木智晴, 藤井雅文, 杉浦綾, 松尾彰文, 前田明, 福永哲夫 : 女子プロ野球選手における投球時の手指動作がボール速度およびボール回転数におよぼす影響, スポーツパフォーマンス研究, Vol.9 No.1659 pp 288-297.</li> <li>• Nagahara, R., Mizutani, M., Matsuo, A., Kanehisa, H., Fukunaga, T.: Association of step width with accelerated sprinting performance and ground reaction force, International Journal of Sports Medicine, Vol.38 No.7 pp 534-540.</li> <li>• Yanai, T., Matsuo, A., Maeda, A., Nakamoto, H., Mizutani, M., Kanehisa, H., Fukunaga, T: Reliability and validity of kinetic and kinematic parameters determined with force plates embedded under soil-filled baseball mound, Journal of Applied Biomechanics, Vol.33 No.4 pp 305-310.</li> <li>• 亀田麻依, <u>水谷未来</u>, 杉山敬, 木葉一総, 前田明 : バスケットボールのディフェンス選手における切り返し動作の特徴, トレーニング科学, Vol.29 No.1 pp 33-42.</li> <li>• <u>水谷未来</u>, 高井洋平, 前田明 : 大学サッカー選手におけるボールを蹴る方向の事前提示の有無がキック動作および正確性に及ぼす影響, 九州体育・スポーツ学研究, Vol.32 No.1 pp 43-51.</li> <li>• Nagahara, R., Mizutani, M., Matsuo, A., Kanehisa, H., Fukunaga, T.:</li> </ul>		
平成 30 年			

平成 31 年	<p>Association of sprint performance with ground reaction forces during acceleration and maximal speed phases in a single sprint, Journal of Applied Biomechanics, Vol.34 pp 305-310.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Akifumi Matsuo, <u>Mirai Mizutani</u>, Ryu Nagahara, Testuo Fukunaga, Hiroaki Kanehisa: External mechanical work done during the acceleration stage of maximal sprint running and its association with running performance, Journal of Experimental Biology</li> <li>• <u>水谷未来</u>, 福富優, 宮澤太機 ; 女子プロ野球投手における投球動作の特徴 - 女子プロ野球投手と男子大学野球投手との比較 - , 至学館大学研究紀要.</li> </ul>
---------	--

#### 所 属 学 会

日本体育学会・東海体育学会・日本トレーニング科学会

日本スポーツパフォーマンス学会・日本武道学会

#### 主 な 社 会 的 活 動

年 度	活 動 内 容
平成 26 年	日本スポーツパフォーマンス学会 編集委員 「現在に至る」